



中央地区町内公民館長会視察研修

南木曾を巡る



大手公民館は、5月23日に中央地区町内公民館長会と共催で「歴史文化研修講座」を開きました。同会会長で松本城研究専門員の上條直利さんを講師に、解説を受けながら木曾路の名所旧跡を巡り、松本と中山道の関わりについて学びました。

見学しました。昼食は、田園の中の古民家のような食事処で、たけのこ飯など山菜料理を味わい、妻籠宿に向かいました。明治時代に

公民館前から地区住民の希望者19人はバスに乘車。国道19号線に出て車窓から見える塩尻、桔梗ヶ原、木曾方面の地名の由来や伝説、名物などの話を聞きました。最初は木曾義仲の墓がある興禅寺で枯山水がある庭園(看雲庭)など、藤の花が咲く新緑の園内を



興禅寺看雲庭



木曾義仲公廟所



妻籠宿を歩く



脇本陣奥谷で思いをはせる



歴史資料館を見学

木曾総ヒノキで建てられた国重要文化財「脇本陣奥谷」では、囲炉裏の煙と窓の光の幻想的な雰囲気感動しました。歴史資料館の展示は、木曾全体の歴史が分かりやすく解説されていました。

古い街並みの宿場町妻籠宿は、修学旅行の生徒や外国人で賑わっていました。

夫妻で参加した百瀬正孝さんは「若い頃はこの地域に由緒ある館や街並みがあることを知らずに通過していた。知識を深めた有意義な1日だった。木曾出身の島崎藤

村の小説もゆつくり読んでみたい」と話していました。

(宮川 美津子)

長元坊 チョウゲンボウ

「我が家の野鳥たち」

庭の垂れモミジの幹に箱型の巣を設置したのは、確か数年前だったと思う。野鳥は、直ぐ入ることはないらしいが、それにしてはなかなか入ってくれない。もうだめなら取り外そうかと巣箱の所へ行ったら、2羽の鳥が頭の周りを激しく飛び廻っている。慌てて離れたが、どうも攻撃的であった。ということも、もしかすると営巣しているかもしれない。

2階では賑やかな雛の鳴き声が聞こえると言う。

それから双眼鏡で観察を始めた。動きが早く、鳥の種類はわからない。白と黒の色を頼りにインターネットで調べると「シジュウカラ」と、すぐ解った。

それから時を見て観察したが、オスメス2羽で引つ切り無しに餌を運ぶだけの日が続いた。今思うと、その時、子育ての最中だったのだろう。

あらためて生態を調べて日取りを逆算してみると、4月初旬に巣に入り、巣造り、産卵、抱卵、孵化、給餌、5月下旬に巣

立ちしたと思われる。

巣箱は分解し水で洗い、熱湯消毒、日光消毒し、再組立てして、来年の再来を期待し願っている。

つばめは例年通り、玄関上の巣で育ち、5月29日幸いにも見ている前で巣立つていった。

(蓑輪 徹朗)



我が家に訪れた野鳥たち



花壇も季節の移ろい

「地区内の環境整備を行いました」

6 月になり、昨年より早く梅雨の季節となりました。

4 日 (水) は丸ノ内中学校の生徒さん、中央地区の有志の方 10 人ほどで学校の周りの植え込みの整備、校庭の草取り等で汗を流していただき、とても綺麗になりました。生徒さんも気持ち良く学校生活を送れることと思います。

17 日 (火) は公民館前のプランターの花の植え替え作業でした。古い土をふるいにかけ、新しい土と混ぜてプランターに戻し、ガザニアの花を植えました。とても暑い日でしたが職員、地区の有志の方 15 人で作業に取り組んでいたおかげで、玄関先が夏の花に変わりました。

公民館を利用される皆様にも、きつと喜んでいただけることでしょう。

最後は城西花壇の植え替えです。

公民館前プランター植え替え



城西花壇植え替え



19 日 (木) 午後 3 時より、街を花いっぱいにする会、市職員、中央地区の有志の皆様 26 人での作業でした。毎回丸ノ内中学の生徒さんも参加して行っていました。今回は連日の猛暑で西日本では熱中症警戒アラートも出ている中でしたので不参加でした。花抜きに始まり、土ならし、それから花の苗の植え付けです。ベコニア、ペチュニア、マリーゴールド他数種類で、とても綺麗に仕上がりました。

昨年の秋に植えたビオラ等冬の寒さに耐え、春になり、とても綺麗に花壇を彩り、観光客そきました。これからは夏から秋にかけて綺麗に花開き、また皆さんを楽しませてくれることと思います。

これも各部会の皆さんで定期的に草取りの作業等、手入れをしていただけているからだと思います。これからも皆で花を愛でる心で地区を花いっぴきに彩りましょう。

(多湖 佳子)

私の履歴書

watashi no rirekisyō
vol.10
二ノ丸町
上條 直利

私は現開智小学校の場所にあつた丸の内病院で産まれ、二ノ丸町で育つてきました。

に説明し、もう片方はドリル学習を行うといった学習に取り組みました。とてもかわいいうちの男の子で手をつないで川に行ったり、ヤギと遊んだり、桑の実を食べたり、楽しいひと時でした。

旭町中学校では桐分枝主任として生徒に音楽を教えました。最初に教えた 6 人は日本、台湾、ベトナム、中国と国籍も多種多様でした。漢字が書けない生徒など、家庭の事情で学校教育を受けられず、中学卒業の資格もなく、就職できなかった生徒が多かったようです。でも、3 月には涙を流しながら「ありがとございしました」と言って卒業していく姿に後ろから頑張れ、としか言えませんでした。

このようにどの学校でも語りたいことが沢山ありますが、教師は私の天職だったと思います。退職まで県内 12 校、36 年間子どもたちと過ごすことができました。

退職後は、旧山辺中学校校舎の館長、山辺教育支援センターで不登校児童の援助、そして松本城研究専門員として充実した生活を送っています。趣味のお城めぐりと男声合唱も毎日を楽しみくさせてくれています。

中央地区の樹木 25

ネムノギ(合歡の木)

- 分 類: マメ科ネムノギ属の落葉高木
- 分 布: 北海道、東北の一部を除く日本全国
- 開花期: 7 月～8 月
- 花: 淡紅色、約 20 ほどの花が集合した刷毛のような優美な花を咲かせる。(英名はシルクツリー)



松本城公園の広場に数年前まで大きなネムノギが 2 本あり、夏の強い日差しを防いで木陰を提供してくれていました。残念ながら台風の影響で 1 本が倒れてしまいましたが、残った 1 本は変わらずに木陰を提供してくれています。夜になると名前のとおり、葉を閉じて眠っているかのようです。ピンク色のフワフワした刷毛の様なとても優美な花を夏に咲かせます。暑い夏の日、夕涼みがてらに花を見に行ってみてはどうですか？



▲ネムノギ(合歡の木)